

授業計画（シラバス）

■科 目	<b>歯科衛生士概論</b>			■講師名	君島 茜
I 部 1 学年	前期	1 5 コマ (1 コマ 90 分授業)	総時間 30 時間	講義 2 単位	
■学習概要	<p>全身の健康維持のため口腔の健康の重要性が広く認知される中で、歯科衛生学の全体像を理解する。歯科衛生士の役割と法的位置づけ、専門職としての自覚・心構え、医療倫理を学ぶ。</p>				
■授業目的、到達目標	<p>倫理的視点かつ科学的な裏づけをもって歯科衛生活動を行うために必要な専門知識、態度を身につける。また歯科衛生士として保健、医療、福祉に関わる意義を理解する。</p>				
■授業方法	<p>講義・グループディスカッション</p>				
■教科書（書籍名・出版社）	<p>歯科衛生学シリーズ／歯科衛生学総論 医歯薬出版          歯科衛生学シリーズ／歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 2 保健医療福祉の制度 医歯薬出版</p>				
■成績評価・講義上の注意	<p>総合評価（授業態度、出席状況、提出物、定期試験等）</p>				
■実務経験	<p>大学病院や歯科病院の一般歯科・小児歯科・障害者歯科・口腔外科・訪問歯科での臨床経験がある歯科衛生士の立場から、本教科において歯科衛生士が担う役割と知識、心構えを伝える。</p>				
■授業計画（講義の流れ）					
1	歯科衛生学とは				
2	歯科衛生の歴史				
3	歯科衛生活動の現況①（歯科衛生士の動向・歯科衛生活動の場）				
4	歯科衛生活動の現況②（チーム医療における歯科衛生活動）				
5	歯科衛生士法①（歯科衛生士法の成り立ち・歯科衛生士の定義と業務）				
6	歯科衛生士法②（免許・歯科衛生士名簿・登録・免許証の交付及び届出）				
7	歯科衛生士法③（国家試験・その他の業務上の義務）				
8	関連法規（歯科医師法・歯科技工士法・医療法等）				
9	医療安全管理①（リスクマネジメント）				
10	医療安全管理②（感染予防）				
11	医療倫理				
12	歯科衛生活動のための理論（科学的思考）				
13	歯科衛生過程				
14	まとめ				
15	定期試験、解答解説				